

広報 ながはま 5月号



振り付けを習う参加者

ソレ、ナンナンナガハマ ♪ ハマドコロ

♪ 長浜音頭振り付け講習会

名調子に汗にじませて

110人が参加

待望の私たちの「長浜音頭」のレコードができあがり、三月二十九日に長浜町体育館大ホールで振り付け講習会がにぎやかに開かれました。

講習会には、町内の各種団体の指導者、保母、先生、高校生、婦人会員、民謡会員、老人クラブ員ら約百十人が参加、はるばる東京から招いたコロンビア専属の振り付け師・紅梅扇寿郎さんの手ほどきでみっちり二時間あまり、できたてホヤホヤの音頭、都はるみの名調子に汗を流しました。

レコードは二千枚製作。町(商工開発課)では各種団体には無償で配付するほか、個人の希望者には区単位にとりまとめ一枚五百円で販売し音頭の普及に努めることにしています。

振り付けをマスターされた方々には、あらゆる機会を活用して頂き一人でも多く、いや、私たちの町の誰もが歌って踊れるようご指導を頂きたいと思えます。



でき上がったレコードとジャケット

流通基地開発構想へ転換

昭和五十三年長浜町議会第一回定例会が三月十五日から二十二日までの八日間の会期で開かれ、五十三年度の長浜町行政の計画ができあがりました。この議会に上程し審議された議案は、五十三年度当初予算をはじめ条例改正など全部で三十件で、いずれ

も原案通り可決。また、陳情書など五件の報告案件が受理採択されました。町長の施政方針、可決されたこと、一般質問の模様をあらましをご紹介しますので、五十三年度の長浜町行政のあり方などを判断ください。

町長の施政方針演説概要



町長 菊地 菊地 町長 施政方針を述べる

議案審議を前に町長は五十三年度の施政方針を述べました。その内容の概要はつぎのとおり。

主軸とした輸入攻勢が加わり異状事態が深刻化している。このような輸出品目の極端な削減や減産は失業者の増加と社会不安を生むおそれがある。一方、輸出減量分を国内需要の拡大に指向しつつあるが、国民には不景気と失業に対する自衛本能があり、不況に備えた貯蓄、節約心がみられ、現時点においては大幅な消費の伸びは期待がもてない。

このような環境下において、政府は景気刺激の唯一の道として国債の増発を行い、思い切った公共投資政策を打ち出している。この方法は財政運用面から見れば好ましいものではないが、やむを得ない当然のことでもある。

自主財源の乏しい地方公共団体は、その年々の国の施策や方針に沿って事業計画を策定しており、本町もこれを受けて公共事業の拡大消化を最重点として推進することとし、財源の裏付けがあり投資効率が高く懸案となっているものから順次着手したい。

そこで町民各位にご理解と認識を頂きたいことは起債(町の借金)のことである。単的な比較であるが自主財源額と起債償還元利合計額を見みると、自主財源が約三億円、このうちすでに借り入れた起債の償還元利合計は約二億三千万円あり、自主財源で建設事業に投入できる額は六、七千万円しかなく、さらに不足分を町債に求めて事業を執行すると数年後には財政の硬直化となり、再建団体に転落という最悪の事態にもなりかねない。再建団体に指定されると、事業は災害復旧しかやれなくなり、現在までの努力が水のアワとなる。その苦しさは、昭和三十年の合併から約七年間にわたって、町民各



地理的条件を生かした流通基地開発には発展への大きな可能性と期待が……。

はじめに

昭和四十九年九月に町長に就任し、本年は任期最終の予算であるが、最後の仕上げという考え方もあり、本町将来の繁栄を築くために必要な当面の課題、問題点の改善という捕え方でもよろもろの施策

国内外情勢の展望

経済不況は日本だけでなく世界的な傾向であり、輸出の行き過ぎが円高という現象を生み、輸出の自粛を求められる反面、農産品を

を行うこととした。

位が苦しみ耐え抜いた過去があり
ご理解頂けると思う。

重点施策総論

公共事業の推進
流通基地の開発
長小校舎の改築

このような情勢を踏まえ、昭和
五十三年度は

第一に、産業基盤整備と景気浮
揚のための公共事業の推進。

第二には、町の振興基本構想で
ある臨海工業開発構想を流通基地
開発構想へ転換し、推進させるこ
とである。

第二については、すでに町議会
でもことし一月に転換推進のため
の特別議決がなされ、理事者と議
会が一体となった体制づくりが要
求されている。むしろ本町独自の
ものとしては第一に掲げる性格の
ものであるが、国策が景気浮揚対
策としての公共事業の推進である
ため第二としたものであり、国内
外の政治経済の情勢変化に急速に
対応して将来発展の可能性が高い
ものとして期待されるものである。
第三には、本町の中心校である
長浜小学校の改築を主とした学校
施設の整備である。

重点施策各論

基盤整備に約10億円
流通基地
事務体制
構築小
準備の年

第一の公共事業の推進は、基盤

整備の拡充を重点とした。

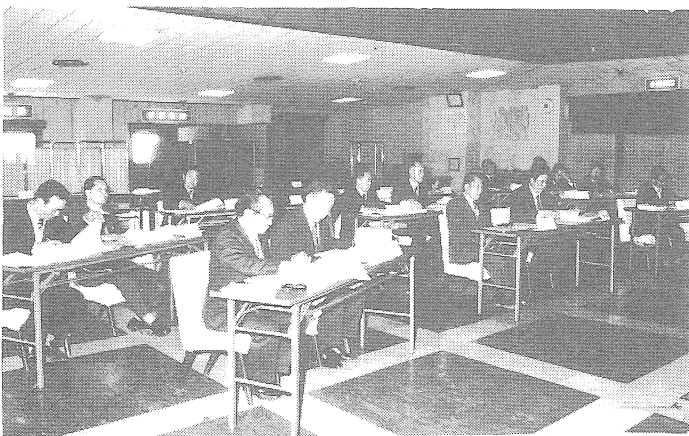
これは産業基盤整備と生活基盤
整備とに大別されるが、両方に関
係する国、県、町道や農林道など
いわゆる交通体系の整備は、県道
改良負担金を含めて約五億五千万
円を予定しており、そのほかの産
業基盤整備は漁港改修、魚礁設置
などで二億二千七百五十万円を当
初予算に計上した。とくに喜多灘
漁港は国道三七八号線の改修と関
連して整備する必要が生じている。

生活基盤整備は、過去には生活
環境施設という呼び名でも説明し
ているが、その必要性、緊急度
に
応じ施工する計画で、はなはだ広
い分野にわたっており、新年度は
町民の生活に直結する公営住宅、
簡易水道、墓地移転、ゴミ処理施
設、部落集会所、下水排水施設、
消防・交通関係
などの安全施設
などを予定し約
二億円の事業費
となっているほ
か、テレビ難視
聴解消対策は補
助が確定しだい
補正予算で処理
する方針である。
これらの施策
は、楽しく住み
よい町づくりの
表看板となり、
建設後は町民一
人一人が「自分
の施設である」
という愛護の理
念をもって管理
がなされること
を強く望む。こ
のことは、一部
の公徳心に欠け
た人々の心ない
所行によって多

くの人々が迷惑をこうむってはな
らないからである。

第二の流通基地開発構想の推進
および実現については地元西田
代議士の政治力を發揮して頂く
ための前提となる町民の皆さんの熱
意の結集、議会、理事者、関係団
体の四者一体の強力な基盤が構築
されることにより可能となると信
じる。そこで、事務体制において
は、流通基地は商業、運輸などが
主力となることが予想されるため
商工課と開発課を統合して「商工
開発課」に一本化し、充実強化
した機構で対処する。

第三の学校施設の整備について
は、本町で最も大きい規模の長浜
小学校校舎が老朽化したため、昭
和五十四年度から全面改築を行う
よう、設計、設備、財政など全般



議案を手に53年度の長浜町政を審議する各議員

にわたる準備の年としたい。これ
には現時点で概算すると六億円前
後の資金が必要で、この額の二分
の一は町の一般財源でまかなうこ
とを覚悟しなければならぬため
とくに財政運営については前段申
し上げた硬直化、再建団体への転
落という悪い事態にならないよう
十分検討したい。したがって、そ
の他については二、三の小施設の
整備に留めたい。

民生福祉

隣人愛、連帯ある
ものに

民生福祉対策については、わが
国の社会福祉、保障制度は不完全
という見解は以前から続いており
現在でも十分とは考えられない。
その一つとして、福祉制度の充
実した国と言われているスウェー
デン、ノルウェーなどでは諸税と
社会保険負担が国民総所得の五〇
％を超えているのに比べ、日本は
現在二七％程度であり、財源率に
おいて大きなへだたりがあり、一
町だけの努力ではどうにもなら
ない問題がある。

また、もう一つには運用のアン
バランスが見られ、一例として、
生活保護を受けている人の日常の
生活水準に比べ、一生懸命に働い
ている人の生活水準の方が低いと
か、医療保険上においては乱診乱
療、病院の老人社交場化など、数
々の現象が派生している。

しかし、町民の福祉向上はいつ
の時代でも最大の考慮を払うべき
であり、一般会計総予算額の約二
六％に当たる五億八千万円余の
民生費、六億円を超す国民健康保
険特別会計予算を組んでいる。こ

のほか衛生費、直営診療所会計を
合わせると莫大な額となるわけで、
このような財政処置と併せて、ほ
んとうの福祉の方向を隣人愛に求め
、住民連帯の福祉として出発させたい。

また、衛生関係については医療
薬害、公害、汚物処理など大きな
問題があるが、福祉と衛生を結び
つけ、この解決実施は国や県、町
が当然やるものだ」という風潮が
あるのであれば、これを除去する
ことに努め、本町の美点として残
る醇厚な隣人愛、連帯感に活路を
求めたい。幸いにして都市地域に
見られる断絶や気風のすさまじ
いのが長浜町は、民生委員を中核
とした各種福祉、衛生機関および
団体の方々の真剣かつ熱心な活動
により、極めてよい状態を保って
おり感謝の意を表するものである。

この美風と実績を永続させ、温か
い心の通い合う社会の建設に、共
々に格段の前進を続けたい。
なおまた、山海の風致に恵まれ
た自然環境を生かし、体力づくり
という根源的なものを掘り起こし、
病気になるまで治療する知識より病
気にかからない予防、さらに、予
防知識より健康保持の体力づくり
ということを社会教育、福祉、衛
生の三者一体の原理として指導推
進したい。

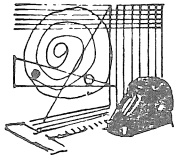
教育

総合教育を基調に
心の豊かな人づくりを

教育については、長浜小学校改
築という大事業を控えているため
当面、地域総合教育理念を基調と
して、社会の厳しさに耐え生きぬ
く根性の養成に的をしぼり、物質
の豊かさより、心の豊かさを持つ
人間性の養成に力を注ぎたい。

全般的な特徴

景気浮揚対策としての公共事業に重点を置いたものとなっており、五十四年度に予定している長浜小学校改築計画のためにも、一般行政経費を極力抑制したものととなっております。



町長選挙費など 集会所は二つ

景気浮揚対策としての公共事業に重点を置いたものとなっており、五十四年度に予定している長浜小学校改築計画のためにも、一般行政経費を極力抑制したものととなっております。

2億5,793万円 (11.3%)

総務費

一般管理・文書
広報・有線放送電
話・財産管理・企
画・事務連絡・生
活行政推
進・徴税
・戸籍住
民登録・
選挙など
のことに
使うお金
のこと

額で前年度より一・二%多くなっています。

一般会計

予算の使いみち今年度の特徴

新しい事業や、とくに力をそそぐ事業、前年度当初予算に比べて大きく変化の生じたもの、予算金額は小さくても精神的な面で充実を図ることになっているものなどを「特徴」とし、まとめてみました。(文中の%は、前年度当初予算との比較)(目的別費目総額のカッコ内の%は一般会計予算総額に占める目的別費目総額の割合)

当初予算決まる

昭和53年度の当初予算が次の通り決まりました。(%)は前年度当初予算との比較)

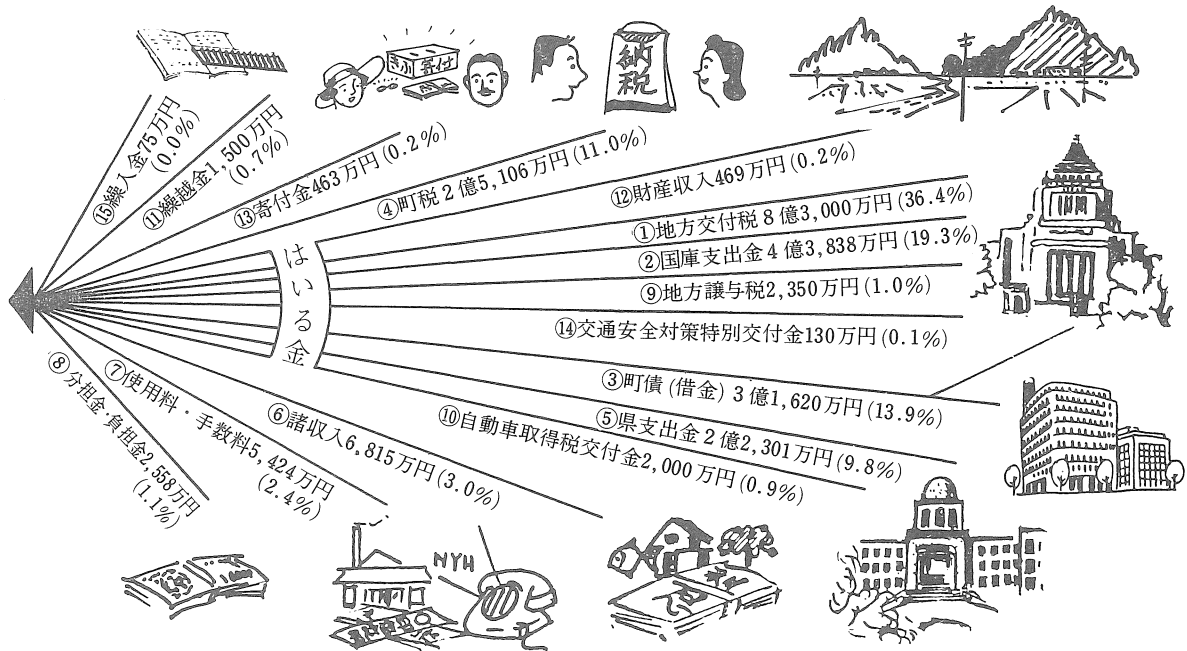
- 一般会計=22億7,648万3千円 (11.2%増)
- 国民健康保険特別会計=6億2,023万9千円 (20.8%増)
- 国民健康保険直営診療所特別会計=515万3千円 (83.4%減)
- 港湾施設特別会計=1,360万3千円 (6.4%減)
- 水道事業会計=収益的収入予定額4,470万9千円。収益的支出予定額4,370万4千円。資本的収入予定額なし。資本的支出予定額513万5千円
- 工業用水道事業会計=収益的収入予定額2,006万8千円。収益的支出予定額1,846万8千円。資本的収入予定額なし。資本的支出予定額625万9千円
- 簡易水道事業特別会計=7,728万7千円 (30.5%増)
- 住宅新築資金等貸付事業特別会計=3,057万8千円 (94.8%増)

農業委員会委員選挙、町長選挙、県知事選挙の年度になつていいため、その必要経費合わせて六百二十六万四千円を計上。
出海の坂本集会所、柴の柿早集会所を建設することになっています。二年に一回行つていいる区長の研修旅行の年度となつており、その旅費二百二十六万五千円を計上。
また、区長会創立二十周年記念行事を行うことにしており、その必要経費四十五万円を計上。
事業所統計調査、住宅統計調査、漁業センサスを行う年度となつていするため、統計調査費は前年度の四五〇・七%多い百十九万五千円を計上。
今年度と来年度の二年間、私たちの町は「人権尊重モデル地区」に指定されたため、これにともなう今年度の必要経費の一部として報償費五万円を計上。
納税報償費は前年度より四%多い五百四十万八千円を計上。
予算上では事務的な経費だけであり特徴として表われていません

一般会計

の歳入歳出

捨5入)は金額の順位)める割合)



議会・予算の使いみち 今年度の特徴

が、重要な内容の変化として、臨海工業開発による振興発展策に代わって長浜港を中心とした流通基地化を促進する「新港湾整備計画」の策定を進めてゆくことにしているほか、国道や県道の整備促進、内山線開通にもなる国鉄予讃線長浜駅の維持存続対策などに重点を置いてゆくことにしています。総額では前年度より〇・九％多くなっています。



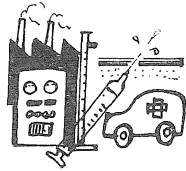
民生費
老人福祉・児童福祉・母子福祉・国民年金・生活保護・救済活動にお金のこと
5億8,142万8千円(25.6%)

**老人医療費は32.6%増
敬老会報償費は二万円アップ**

老人医療費の扶助費は、医療費の上昇、患者および入院患者の増加などで前年度より三二・六％多い九千二百二十六万五千円を計上。また、重度心身障害者の医療費も同じ理由で前年度より二七・三％多い一千二百三万六千円を計上。一方、母子家庭の医療費は、入院については自己負担分を県と町が半分ずつを助成する形ですでに四十九年度から無料に、また、通院については自己負担分の二分の一を町が助成するだけになっていましたが、四月一日からは、通院の場合の自己負担の残る二分の一を県が助成することになって、いづれも無料となることから、それに相当する助成費として百六万三千

円を計上。敬老会の報償費は一公民館当りの補助を一万円増額して二万五千円とし、これに相当する額を計上。地方改善対策事業では、大屋地区道路(黒田)、衛生地区道路を新設するほか、柴の道上地区排水路を改良、また、衛生の高峯地区墓地の移転をすることにしています。

仁久に宿所提供施設として設置されている松風寮は、建築年数が長いため老朽がいちじるしく、修理も不可能の状態です。宿所提供施設として基準に適合しなくなったため四月一日に廃止しました。総額では前年度より四二％多くなっています。



衛生費
保健衛生全般・公害防止・汚物処理などにお金のこと
1億8,436万円(8.1%)

不燃物処理場を建設

不燃物は現在、処理をしないでそのまま捨てていますが、捨て場の確保がむづかしくなったため、不燃物処理施設を建設することにしています。この施設が完成すると、ビン類は破碎して少量化し、カン類やその他の金属類は圧縮プレスして売却することになります。新たに四十歳以上の希望者を対象に、肺ガンの集団検診を実施するとともに、質的な特徴として、結核、成人病検診、胃がん、婦人がん集団検診に対する啓もうに力を入れ「自分の健康は自分で守る」ことの認識を高めて受診率の向上

を図りたいほか、早期発見、早期治療の体制を整えることに努力することにしています。総額では前年度より二八％多くなっています。



農林水産業費
農業・林業・漁業関係などにお金のこと
4億79万5千円(17.6%)

**地籍調査費など
補助も充実**

今年度から十年計画で国土調査(地籍調査)正しい土地台帳・図面・帳簿づくりをスタートさせ、初年度となる今年度は出海地区の一部を調査することにしており、その必要経費として九百七十六万九千円を計上。

第二次林業構造改善事業の継続事業として林道出石寺線をさらに約八百八十メートル延長。出海に作業林道浄心線、耳取線、鶴ノ首線の三線を開設することにしています。柴の小谷地区の治山事業を行うことにしています。

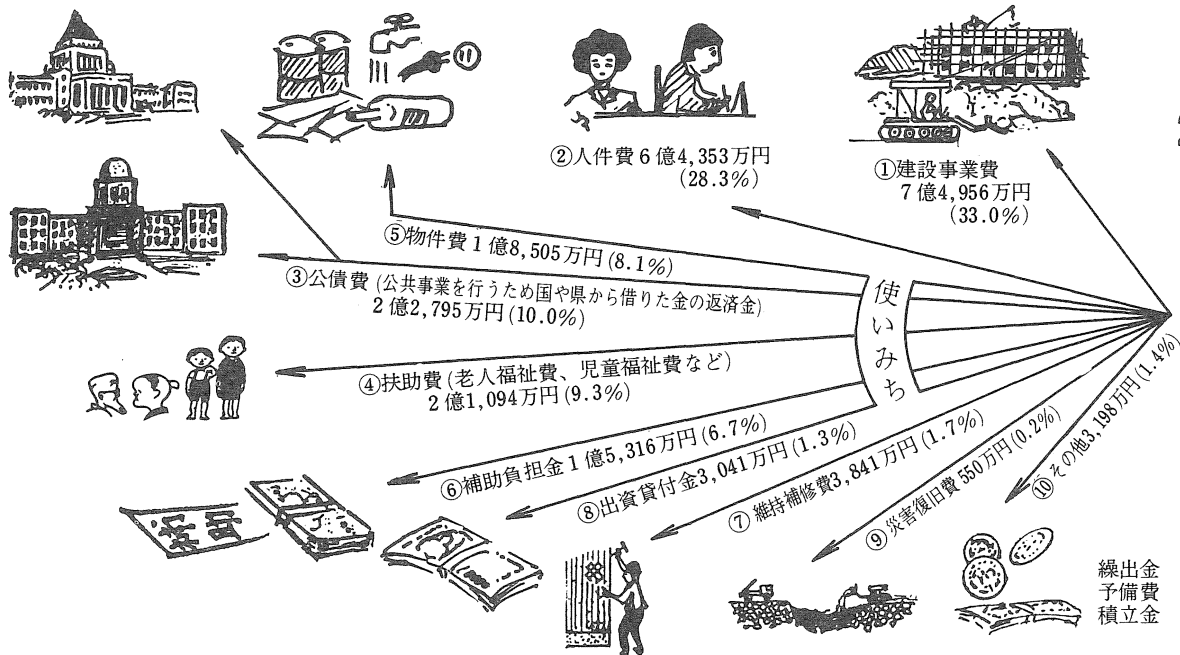
喜多灘、沖浦の両漁港の改修を引き続き行うほか、出漁漁港海岸の保全を行うことにしています。並型魚礁約百六十個、磯投石魚礁約一千二百五十立方メートルを投入設置することにしています。

農業振興の補助関係では、新たに新品種母樹園設置事業を取り入れ五万五千円を計上しているほか、常緑樹振興事業(品種更新)には前年度より二五・二％多い百七十七万円を、また、特用作物産地育成対策事業には前年度より七三・二

性質別に見

22億7,648万円

(金額は千円単位
①②など円内数
％は予算総額に)



出金
子備費
積立金

議会・予算の使いみち 今年度の特徴

労働費

労働条件の改善などのために使用のお金のこと

10万円 (0.0%)

前年度と同額です。

議会費

町議会議運営のためにお金のこと

4,449万5千円 (2.0%)

総額で前年度より一割多くなっていますが、いづれも経常的経費の増です。

観光パンフ作成など

観光のPRとして観光パンフレットの作成に五十万円を計上するなど観光面の強化をすることになっています。

公園の維持管理については、公園の清掃下刈人夫賃を前年度より十四%多く三十二万円計上。街路灯は緊急度の高いものから設置することになっています。

総額では前年度より二・五%少

商工費

商業・工業・観光関係に使用のお金のこと

2,351万8千円 (1.0%)



も多い五十四万四千円を計上。林業振興関係の補助では、松くい虫防除対策事業は今年度は伐採地対策を含めたものとしており、前年度より一・二・五%多い二百一十二万円を計上。

水産振興関係の補助は、新たに稚魚放流事業を取り入れ八十万円を、また、漁業者研修補助も設けて二十五万円を計上。

総額では前年度より八・一%多くなっています。

予備費

あらかじめ定まっている目的以外に使用のお金のこと

430万8千円 (0.2%)

総額で前年度より九・二%多くなっています。

公債費

借金の返済金のこと

2億2,811万2千円 (10.0%)

総額で前年度より一八・八%多くなっています。

住宅は一むね八戸

公営住宅は今年度は中高層四階建て八戸を建設することになっています。

町道長浜と戒川線ほか二十線の各町道の舗装や改良を引き続き行います。

旧長浜大橋の開閉業務を今年度から町が行うことになり、その必要経費を計上しています。

沖浦地区内ほかの下水管の新設改良を行うことになっています。

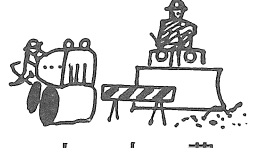
今坊の幸口川の整備を行うことになっています。

交通安全対策としては、今年度もガードレール、カーブミラーを整備します。

総額では前年度より二%多くな

町道舗装や改良

町道長浜と戒川線ほか二十線の各町道の舗装や改良を引き続き行います。



土木費

道路・河川・港湾・下水道・交通安全施設などに使用のお金のこと

3億34万5千円 (13.2%)

長中相撲場を建設

長浜中学校に屋根付きの相撲場を建設することになっています。

柴小学校の屋外運動場に照明施設を設備することになっています。

喜多灘小学校の給水施設(貯水

愛媛クラブ 駅伝を開催

教育費

学校教育・社会教育全般に使用のお金で民族館・公民館・保健体育・校舎建設などの費用も含まれます

1億7,772万3千円 (7.8%)



団員研修訓練など

前年度と同じく四十立方メートル級防火水そうを一基、二十立方メートル級防火水そうを三基造ることになっているほか、小型動力ポンプ二台、ホース二十本を購入することになっています。

二年に一回行っている消防団員(部長以上)の研修訓練を行う年度となっており、その旅費二百二十万円を計上。

大洲地区広域消防事務組合への負担金は三千四百三十七万五千円。総額では前年度より一・三%多くなっています。

消防費

防火防炎のためにお金のこと

6,786万9千円 (3.0%)



国保直診

515万3千円

今年度から白滝診療所の運営を直営から一般診療所に移したため、その分の減少で、総額は前年度より八三・四%少ないものとなっています。

国民健康保険

6億2,023万9千円

国民健康保険で負担する七割分の医療費、いわゆる療養給付費は、医療費の引き上げ、老人医療費の増大などにより前年度より二二・六%多い五億二千五百五十六万九千円を計上。

高額療養費も老人の長期医療の増加、医療費の引き上げなどにより大幅な増大が見込まれるため、前年度より一・二%も多い四十九億九千八百八十八円を計上。

総額では二〇・八%多くなっています。

特別会計

国保で負担する七割分の医療費、いわゆる療養給付費は、医療費の引き上げ、老人医療費の増大などにより前年度より二二・六%多い五億二千五百五十六万九千円を計上。

このほか予算上ではとくに変化はありませんが、社会教育、公民館活動の諸事業は、時代の変化に対応した質的な充実をめざして推進してゆくことにしています。

総額で前年度より一九・一%少なくなっているのは、長浜小学校の改築に備えるうえからも、今年度は大きな建設事業をさしひかえているためです。

タンク)を整備することになっています。

長浜駅伝大会のほかに、新たに「愛媛クラブ駅伝大会」を開催することになっています。

地域総合教育は、実行段階二年目として充実を図ることになっています。

住宅新築資金等貸付事業

3,057万8千円

当初予算での比較では前年度より九四・八%も多いものとなっていますが、予想される前年度の決算額とは大差のないものとなっています。

簡易水道

7,728万7千円

下須戒の下平、柴の日の浦両地区の飲料水供給施設をつくることになっています。

出海と青島地区の簡易水道施設を改良することになっています。

総額では前年度より三〇・五%多くなっています。

港湾施設

1,360万3千円

総額で前年度より六・四%少なくなっています。

昭和五十一年以降当町には幸いにも大きい災害がなく、今年度は町が単独で行うものだけで、総額で前年度より八三・四%少なくなっています。

災害復旧費

550万円 (0.2%)

農地農業施設 設災害復旧では、柳生一農道、谷上水路と桜農道(いずれも豊茂)を行います。

公共土木施設 災害復旧では、日の浦一号线(今坊、長浜、戒川線、郷、張木線と久保田、桜線(いずれも豊茂、黒田線の各町道)を行います。



商工課と開発課を統合

商工開発課に

流通基地建設計画推進業務も担当

課設置条例の一部を改正、この四月一日から町の商工課と開発課を統合して「商工開発課」とすることになりました。これによって、町ではこれまで

の商工業務を充実させるとともに、当町の商工業振興の基盤となる新港湾建設にもなう流通基地建設計画推進の業務をも担当させてゆく考えです。

入院外も無料に

家庭療育医療

県の条例改正にともなう長浜町母子家庭医療費助成条例の一部を改正、これまで母子家庭（ただし①二十歳未満の児童を扶養する母親とその児童の家庭②祖母と孫および姉と弟妹で生活をしている家庭のいずれかであった所得税がかかってない世帯）の医療費のうち入院外の医療費の場合個人負担分の半額だけを町が助成していましたが、この四月一日からは入院の場合と同じく残る個人負担分を県が助成することになり、入院、入院外いずれも無料で医療が受けられることになりました。

(水族館)入場料

10年ぶり倍額に引き上げ

水族館設置条例の一部を改正、長浜町水族館の入場料を四月一日から下表の通り改めることになりました。

長浜町水族館入場料

入場者別	個人	30人以上の団体
小学校児童 中学生徒	40円	1人につき 30円
高等学校生徒	60円	1人につき 40円
15歳以上の 一般人	100円	1人につき 60円

固定資産評価員 に増田晴茂氏

水族館入場料の改定は四十三年以来で十年ぶり。引き上げ額はいづれもこれまでの倍額。

長浜町固定資産評価員・清水遠氏（長浜）は、この三月三十一日と同職を辞職するのにもない、町長はその後任に長浜三十一区の増田晴茂氏（六〇・現町助役）を選任することで議会の同意を求めた結果、全員賛成の同意を得、後任の評価員に決まりました。

同員は、町長の指揮を受けて固定資産を適正に評価し、町長が行う価格の決定を補助するのが任務。任期なし。定数一人。

固定資産評価審査委員会委員に

坂東氏を再選任



長浜町固定資産評価審査委員会委員・坂東武男氏（四七・櫛生）写真は、この三月三十一日

同日同委員の任期が満了のため、町長は後任に同氏を再選任、議会の同意を求めた結果、万場一致で同意され再選任されました。

同委員は、固定資産課税台帳に登録されたことがらについて不服があり、異議の申し立てがあったものについて審査を行い決定するのが任務。任期三年。定数三人。

議員報酬、三役・教育長給与を改正

昨年の四月にさかのぼって改正された一般町職員給与との不均衡を是正するため「長浜町議会議員等の報酬、費用弁償及び期末手当支給に関する条例」(長浜町長、

助役、収入役給与条例」(長浜町教育長給与条例)の一部をそれぞれ改正、ことし四月一日から報酬や給与額を次の通り改めることになりました。

なお、この改正に当たっては、さる二月七日に特別職報酬等審議会の審議を経ており、同審議会の答申に基づいた改正となっています。カッコ内は改正前の額。

【町議会議員報酬月額】議長 十三万円(十二万円)

副議長 十一万円(九万五千円) 議員 十万円(九万円)

【町三役・教育長給与月額】町長 四十二万円(三十八万円)

助役 三十四万円(三十一万円) 収入役 三十二万円(二十九万円)

教育長 三十万円(二十七万円)

特別職や教育委員などの報酬額なども

常勤特別職や他町村同職との均衡などを保つため、長浜町特別職職員、長浜町教育委員会委員、長浜町農業委員会委員の「報酬及び費用弁償条例」の一部をそれぞれ改正、ことし四月一日から報酬および費用弁償額を次の通り改めることになりました。カッコ内は改正前の額。

【監査委員報酬年額】議員から選任された委員 十三万円(十二万円) 知識経験委員 十六万円(十五万円)

【選挙管理委員会委員報酬年額】委員長 三万円(二万七千円) 委員 二万五千円(二万二千円)

【教育委員会委員報酬年額】委員長 十七万円(十六万円) 委員 十五万円(十四万円)

【農業委員会委員報酬年額】会長 十三万円(十二万円) 委員 十一万円(十万円)

【固定資産評価審査委員会委員などの費用弁償額】勤務一日につき六千円以内(五千円以内)

138区は大和公民館区域に

長浜町立公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正、これまで白滝公民館の管轄区域であった一三八区(大字大越の一部)は、地域住民の要望もあり、四月一日から大和公民館の管轄区域に変更することになりました。

白滝は一般診療所に

国民健康保険直営診療所条例の一部を改正、これまで国民健康保険直営診療所として運営していた白滝診療所は、この四月一日から町の「一般診療所」とすることになりました。

これで国民健康保険直営診療所は青島診療所だけとなりました。

増額分の積立金に百五十万円。老人医療費の増加分に三百一十一万八千円。

衛生費 厚生省で認定された町内の予防接種後遺症患者(一人)に対する一時金と医療費の負担金(四分の一)に七百六十五万九千円。

農林水産業費 晩かん類等産地育成対策補助に百七十六万九千円。

長高整備補助金など補正

52年度一般会計

五十二年度の一般会計予算に今回二千七百五十二万二千円を補正、当予算会計の総額は二十三億三千八百九十五万八千円となりま

した。補正した予算のおもな使いみちは次の通り。

総務費 今年度末退職する町職員二人に支給する特別条例分の退職負担金に一千四百六十七万七千円。

民生費 国民年金印紙購入基金

議会・一般質問

しいたけ生産施設整備事業補助金八十七万二千円。工事費の減少による第二次林業構造改善事業費の減額百四十万円。出漁漁港海岸保全事業に対する国庫補助割り当て額の減少などにもなう漁港建設費の減額二百五十六万円。

商工費「長浜音頭」製作費の不用分の減額七十四万円。土木費 町道橋立峯今坊線の舗装工事請負費。国道三七八号線の改良にもなう下水道新設改良工事請負費。

消防費 広域消防事務組合負担金(職員の給与改訂にもなう)に二百二十八万九千円。

教育費 県立長浜高校施設整備補助金四百万円。

療養費など二千九百四十万四千円を補正

52年度国保会計

五十二年度国民健康保険(国保)

4月1日付けで

55人を異動 町職員

町では、一部の機構改革などの関係で、今回は四月一日付けで次の通り町職員の人事異動および昇格の発令を行いました。

前。○内は異動前。○は昇格。

▽課長 商工開発課長(開発課長) 泉芳信

長補佐) 大野智▽商工開発課長補佐(兼商工係長) 山崎一義▽商工開発課長

特別会計に今回二千九百四十万四千円を補正、当予算会計の総額は五億四千五百三十一万九千円となりました。

療養給付費(被保険者1国保加入者1の医療費のうち保険者が負担する七割分)に二千七百四十六万九千円。高額療養費(保険者が負担する三割分の医療費の額が、一か月分を越える場合、その越える分について保険者が負担することになっており、その負担金)に百九十三万五千円。

家庭・地域から 飲酒運転を 追放しましょう

補佐兼調整係長(開発課長補佐兼調整係長) 宮田猛義

▽係長・主事・技師 総務課企画財政係長(同課財政係長) 山本勝延▽総務課国土調査係長(同課企画統計係長) 上田富貴男▽総務課管財係長(同課庶務消防係) 〇叶本正▽総務課公車管理係技師(衛生課環境係技師) 西本幸雄▽文書広報課主事(建設課管財係主事) 仙波久枝▽税務課係長(同課住民税係) 〇西田孝

▽衛生課国保係長(会計室) 〇政所友邦▽建設課庶務係長(衛生課国保係長) 藤沢豊彦▽商工開発課開発係長(開発課調査係長) 下田健三▽水族館主任(税務課収納係長) 平田友幸

▽書記・技手・書記補・技手補級

一般質問

広く声を聞いて

役場庁舎建設場所

小川議員：①長浜小学校建築の財政措置はどうなるのか。物価の動き、政府が公共事業を奨励している情勢などを考えると、必要なことは多少の無理があっても極力早くやる方がよいと思うがどうか。②役場庁舎はどこへ建てるのか現在の役場庁舎の場所以外にするのであれば、土地だけははっきり決めて、そこへ重点を置いてゆべきではないか。

菊地町長：①あらゆる手段、方法を講じて一般財源の持ち出しをどのように軽減してゆかについては今後、建築を進める基本的な計画と合わせて煮詰めてゆかわけであり、どのように仕組んでいるかということをお願いする段階に至っていない。

②このような公共建築物の場所は、単に町理事者だけで決定するというようなことではないかと思っており、広く町民の方々の声も吸収した上で決めたいと考えている。今のところ、場所や方法などについて具体的にお答えする段階ではないのでご理解頂きたい。

マスタープラン 立案作業中

海水浴場の整備計画

小川議員：建設省における脇川

流域の公園化にもなう当町の海水浴場計画は、その後どうなっているか。計画ができていないなら、その青写真を取ったまわりたい。

菊地町長：脇川流域観光協議会(現在十市町村が関係)で昭和四十五年に脇川流域開発整備計画を立て、最終地元案を四十七年三月に一応決めたが、四十七年十二月に国直轄で脇川流域の調査を行うことが内定し、四十八、四十九年の二年にわたって建設省四国地方建設局の大規模公園関連調査が行われて、五十年十一月にその報告を受けた。それを基に脇川流域開発整備計画の再検討ということに地元案の見直しをし、マスタープランを立案するように現在順次その作業を進めており、五十二年度は管内の実態調査を行うことになっている。

海水浴場の整備計画は、当初から漁港整備とあわせて進めるように

不都合があれば補修 財政許せば早期実現

校舎 体育館

出海小・中

塚本議員：①危険校舎として指定を受けている出海小学校と出海中学校とを合わせた校舎の改築、体育館建設の構想を持って頂けないか。

②土居新教育長の教育行政に対する姿勢、現在までの方針に対する肉付けや変更があれば伺いたい。

③現在の小学校の複式授業の基準(二学級合わせて二十一人を割った場合)を、中学校に準じた「二学級合わせて二十一人を割った場合」の基準までに引き下げ、複式授業

な計画が立てられているが、漁港の整備計画は厳しい社会情勢の関係で予算の範囲が出発の時点から狭められたため、当初の計画より遅れている。

「お茶懇」続けたい

町政対話の場づくり

小川議員：行政連絡会のような大きいものでなく、ヒザをつき合わせて町政のあり方が聞けるような場づくりをする意志はあるか。

菊地町長：ご指摘のようなものとして県と呼応して「お茶の間懇談会」を公民館単位で毎年順番に行っており、今後もこれを進めてゆきたい。

このほか各種団体との接触、各区长、広報ながはま、有線放送などを通じての広報広聴を行っているが、なお完璧を期するために調査検討したい。

の解消に努めるよう県や国に働きかける用意はないか。

菊地町長：①危険な状態で人身事故などが発生するようなことがあってはならないので、教育委員会なども協議して対応してゆきたい。また、財政のともなうことであるので、財政計画とあわせて進めてゆきたい。

土居教育長：①の町長答弁に補足)この危険校舎の指定というのは、もうそこが危なくて使えないというような意味の指定ではなく、言わば「建築して相当に年がたっているから、建て替える場合には、もう一度国の補助を出してあげますよ」といった返事を獲得したという意味の指定であるというように私の方では受け取っている。しかし、日常の使用に支障があるとか、生徒や先生たちの健康

総務課(櫛生隣保館) 植杉岳志

▽税務課(白滝公民館) 新田道夫

▽税務課(文書広報課) 吉田直人

▽櫛生隣保館(衛生課) 山本多喜男

▽社会福祉協議会(老人ホーム白山園) 一藤豊

▽住民課(大和保

育所) 久井智子

▽焼却場(水族館)

松石之道

▽衛生課(開発課) 西山

健市

▽青島診療所(新採用) 赤丸

恵子

▽商工開発課(開発課) 田中

宏幸

▽商工開発課(開発課) 三秋

計邦

▽商工開発課(農林水産課)

レイ子

▽商工開発課(建設課)

大本昭裕

▽商工開発課(建設課)

井上裕重

▽建設課(社会福祉協議会)

好光

▽建設課(衛生課) 藤

浦上恵美子

▽港務所(衛生課) 藤

本修

▽会計室(長浜中学校) 大

国尚子

▽白滝公民館(税務課) 滝

内仁

▽長浜中学校(農林水産課)

山口早苗

▽老人ホーム白山園(新

採用) 松本和重

▽文書広報課(新

採用) 菊地直美

子

▽豊茂(白滝) 矢野越子

退職

〆おせわになりました

〆今回の異動とは直接関係のない

者もありますが、ここ最近におい

て次の四人が退職しています。

坂井弥八郎(前商工課長、一月

末日付け) 〆池田又一郎(老人ホ

ーム白山園長

〆榎尾ハツ子(商工

課商工振興係主事) 〆立脇るり子

(青島診療所看護婦) 〆久保七郎

(教育課社会教育係嘱託) 〆以上

はいずれも三月末日付け。

青島・出石寺

へ放送開始

青島や八里離れた出石寺地区にも有線放送が聞けるように、と、町では昨年の九月から「無線中継施設」の設置事業を行っていましたが、このほどそれが完了、この四月一日から無線電波により有線放送番組をお届けしています。施設は、青島漁協屋上と出石寺屋上に中継施設を設け、町役場屋上から出力五キロワットの電波で送るといふもの。

保育所

▽所長 出海(櫛生) 玉井徳美

▽主任保育母 大和(出海) 田村恒子

▽副主任保育母 茂(大成節子) 豊茂(大和) 宮岡

▽保育母 長浜(大和) 西田清子

▽長浜(白滝) 梶本幸子

▽吉岡とよ子

▽長浜(櫛生) 河内厚子

▽白滝(大和) 菊地さと子

▽沖浦(喜多灘) 矢間

栄津美

▽櫛生(長浜) 宇都宮由美

子

▽出海(長浜) 木ノ本律子

▽出海(沖浦) 吹春みね子

▽大和(長浜) 中上幸子

▽大和(出海) 鈴木

佳代子

出石寺に放送を伝えるトラン



総工費約三百四十万円。

電波管理法で数々の制約を受け、たとえば商業放送(CM)や音楽放送などはできないことになっているため、当面は朝六時半、昼十二時半、夜八時五十分からの放送(いずれも十分間)だけとしていきます。

に影響があるというようなことであれば当面それら不都合な点を補修して支障のないように管理してゆくという考えである。

体育館の必要性は私も十分認識しており、そのために現在の体育館を今年危険校舎の認定を受けるよう先月(二月)その手続きを終え、補助を受ける資格だけは取得した。長浜小学校の建築も控えているので、財政事情が許す状態になれば、なるべく早く実現するよう努力したい。

②私も五人の教育委員の意見の結論に基づいて教育行政を円満に進めてゆくという基本的な考え方で当りたい。

③私も同様の考えをもっており、これまでも機会あるごとに当局へ要望している。

基盤整備が基本

〜農林漁業の指導方針〜

塚木議員：①新年度予算案を見ると、福祉予算と公共投資予算の両面をもったものと思うが、ましがいいか。

②県が取り組もうとしている中小企業地場産業の育成保護による

高額補助・低利融資の要望を進めたい

〜制度資金の返済〜

津田議員：①みかん農家に対する今後の営農および生活指導はどうしてゆくか。

②営農の基盤整備事業は、農道をつくるにしても地元負担をしてつけているが、農業をとりまくこのような経済環境の中では、借り入れた制度資金の返済ができない実情であるので、これの全面凍結

地域地域の特異性をもった基幹産業の育成強化について、町でも独自に類似した考え方をもちべきであると思うが、どのような構想があるか。

③農林漁業の生産活動に対する今年度の町の指導方針、目的はどのように置いているか。

菊地町長：①詳しく予算の内容を見て頂ければわかるように、公共事業の推進をまず基本としている。この効果を末端にまでいかに早く実現するかについては早期着工、地場産業育成のための資材、その他の発注などについての指導を強化してゆきたいと考えており、このことは中小企業育成にも関連させてゆきたい。

②商工会の基本的な推進計画もあるもので、そういったものといま

野は強力に進めてゆきたい。

③基盤整備、その他を含めた体制づくりを町が進めてゆくときであると考えている。農林道や漁港の整備といったものが基本になつてくるし、品種更新などの問題もあいまつて進めてゆきたい。こういったことを基本にして五十三年度予算の編成に当たっている。

を強く国に働きかけてはどうか。また、その事前策として、現在借り入れている資金全額の利子補給を町で行えないか。

③今後、農道をつくる場合に必要な資材などの援助はできないか。菊地町長：①情勢の厳しさが追い越して効果が上がりにくいが、前年度に引き続いてハツサク、その他の品種更新なども含めて推進してゆきたい。

また、県議会で発言のあった「所得共済制度」といったものが実施されることによつて農家経営

が安定してくる道も開けるのではないかと考えているので、農協と連絡を取り合つて県や国にこれを早く実施して頂くような要望をしてゆきたい。

②今後行つてゆく基盤整備については、できるだけ農家負担にならないように、しかも均一なものにしてゆきたい。また、融資制度そのものや補助率のアップなどについては、関係団体とともに提携して強く高額補助あるいは低利融資の要望を進めてゆきたい。

他町村の例も見

て検討

〜結婚相談員の設置〜

津田議員：農家への嫁不足対策として、公民館の中でも結婚相談員みたいなものを設けて、若者に夢と希望を与えてはどうか。

菊地町長：基本的には農政の本格的な対策をとらない限り問題の解決はむづかしいが、そうかといつて手をこまぬいてはいただけではないので、いろいろな方法を考えてみた。その一つとして前小泉教育長の肝いりで、若い後継者、勤労青年の交流の場をもつことがそういう面への一助にもなるということ、現在まで勤労青年の国内研修の場を設けており、具体的にそういうことの効果があつていよう。

しかし、そのようなことで完全だとは思つておらず、他町村の例も見て十分検討してゆきたい。

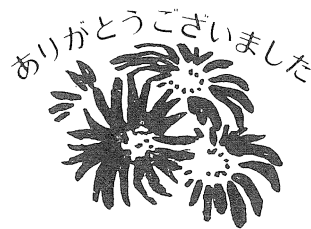


卓上カレンダーの5月分をめくってゆくと、楠のもり上りたる若葉かな、の句が目についた。今は至るところ青葉、若葉で美しい。とくに山がよい。歳時記には谷若葉、里若葉、山若葉、若葉風、若葉雨とあり人の心を新鮮してくれる▲「自然に帰れ、自然に従え、自然を見よ、そして自然が教える道をたどってゆけ」と説き続けた18世紀のフランスの思想家、文学者であり、あらゆる面で近代の父と言われたルソーを思い出す▲4月29日から5月5日にかけて、家庭の行楽週間になるが、手作りのお握り弁当で、手近な長浜の自然歩道を楽しんではどうだろうか▲国立公園で県指定名勝である出石寺参りも、バス・自家用車では興がない。家族の団らん健康のために行きはバス、帰りは旧出石寺道を歩く。人だけが通る新緑の山の土の感触に浸りながら道々カシワの葉を摘む。翌日は母さんに作ってもらった柏餅で自然の味を満喫する▲近頃道路が開通した壺神山コースも趣がある。道しるべのある旧大洲街道を歩き、戒川の史跡をめぐるのもまた捨てがたい。近い所では白滝、不動滝めぐり、若葉の滝の眺めも格別である▲「徒歩は私の思想を活気づけ、生き生きさせる何ものかを持っている」というルソーの言葉を深く考えてみよう。

人口世帯数

楽しく住みよい町、豊かで働きがいのある町
美しい人情と文化の町をつくり、人口をふやしましょう

	4月1日現在	前月との比較
人口	13,363人 (男 6,370人 女 6,993人)	76人減 (40人減 36人減)
世帯数	3,901世帯	8世帯減



寄付

○沖浦保育所へ。
○沖浦保育所昭和五十二年度卒園児一同：紙芝居二セット(千三百円相当)を沖浦保育所へ。
○沖浦保育所昭和五十二年度母の会：20型カラーテレビ一台を沖浦保育所へ。
○下須戒の川田充義さん(三六)：八畳敷きジュエータンを大和保育所へ。
○大和保育所昭和五十二年度卒園児一同：水晶時計(一万円)を大和保育所へ。

○榎生保育所昭和五十二年度卒園児一同：花びん二個、剣山一個、水盤一個、水さし一個を榎生保育所へ。
○白滝保育所昭和五十二年度母の会：卓上ステレオ二台、電気そうじ機一台を白滝保育所へ。
○長浜十七区の武智知子さん(三五)：鏡二面を喜多灘小学校へ。
○松山市古川町の塩野晴美さん(五五)：ミニシン一台(三万一千七百円)を喜多灘小学校へ。

児童扶養手当

特別児童扶養手当

どちらか恵まない子どもたちの福祉の向上をはかるために国が実施している制度です。
児童扶養手当 離婚 など
父がいない児童の母、または母に代わって児童(十八歳未満。ただし、一三級程度の身体障害がある児童は二十歳未満)を養育している方に支給されます。
手当額は○児童一人につき月額一万九千五百円。○二人以上の場合は、二人目の児童に月額二千



円 三人目以降の児童には一人につき月額四百円が加算されます。
特別児童扶養手当 中程度
以上の子どもの身体障害や知恵遅れの障害がある子ども(二十歳未満)を家庭で養育している方に支給されます。
手当額は○重度障害(身体障害者手帳一級)は月額二万二千五百円。
○中度障害(身体障害者手帳二級)は月額一万五千円。
ただし、この手当は、いづれも保護者の所得が一定以上あったり、公的な年金を受けている方には支給されません。

結婚



3月長浜町役場届出分

(敬称略)

住 所 氏 名 婚姻届時年齢
出 海 出 海 計 幸
榎 生 竹内 富士子 (二二七)
穂 積 菊 地 敏 治 (二二七)
大 洲 市 清 水 政 子 (二二五)

お誕生おめでとう!!

3月届出分(敬称略)

住 所 保護者氏名 続柄 児名
下 須 戒 宮 岡 茂 長 男 暁

おくやみ

3月届出分(敬称略)

住 所 氏 名 死亡時年齢
柴 松田 玉五郎 (九五)
豊 茂 岩 本 繁 (七〇)
榎 生 小 森 庫 三 郎 (八八)
出 海 水 田 春 市 (七六)
上 老 松 池 田 武 喜 (七六)
豊 大 成 佳 代 (七〇)
青 島 田 中 恒 吉 (七七)
下 須 戒 矢 野 ヒ サ 吉 (八一)
長 浜 末 永 彦 六 (八九)
沖 浦 渡 壁 マ サ コ (六九)
白 滝 新 居 三 三 子 (六八)
長 浜 藤 枝 ナ ツ 子 (五七)
白 滝 真 鍋 柳 吉 (八八)

編集後記

明けて昭和五十三年度の行政のあり方をご紹介する第一回議会記事をご紹介しましたが、年度末期のあわただしさに新しい企画を考えるいとまが得れず、例年と同じパターン紙面となつてしまいました。文字がドッサリで、はたして手に取って頂けるかと心配です。さて次号は：、五月号後記にペンを走らす今の時点(四月八日午後一時半)では、四月人事異動後の「町職員録」以外は白紙の脳裏ですが、前四月号からの新スタイルに沿って作業を進めたいと思っております。
本紙末尾を飾る「長浜嵐」の執筆者の一人・久保七郎さんが町の嘱託事務を退(ひ)かれたため、今後は増田助役・高左衛門さんの二人で続けます。
ここちよい五月風、若葉薫る季節です。お互いがんばりましょう。